

- ・工場等遮熱断熱促進補助金
- ・中小企業CO2排出量可視化促進事業

取り組み紹介



## 概要

### ■目的

近年の猛暑等異常気象をふまえ、工場等の屋根及び壁に施工する遮熱・断熱工事にかかる経費の一部を補助することで、市内中小企業の働きやすい職場環境を整備し、人材確保を図るとともに、省エネルギー化や二酸化炭素排出量削減効果も期待されることから、カーボンニュートラルを促進していく。

### ■対象事業

補助対象施設の工場等の屋根及び壁に施工する遮熱・断熱工事で、補助対象経費が100万円以上の工事。

1. 遮熱工事
2. 断熱工事
3. 遮熱塗装工事

### ■補助率及び上限額

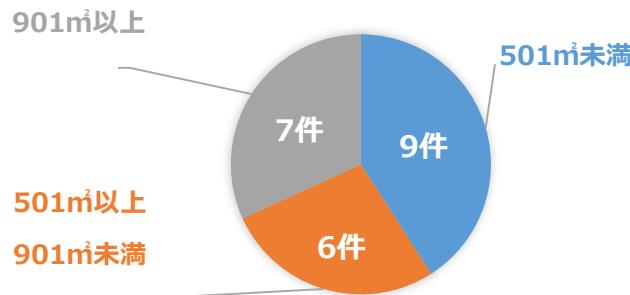
【補助率】対象工事費の3分の1（千円未満切り捨て） 【補助上限】

工事施工面積	
501m <sup>2</sup> 未満	100万円
501m <sup>2</sup> 以上901m <sup>2</sup> 未満	150万円
901m <sup>2</sup> 以上	200万円

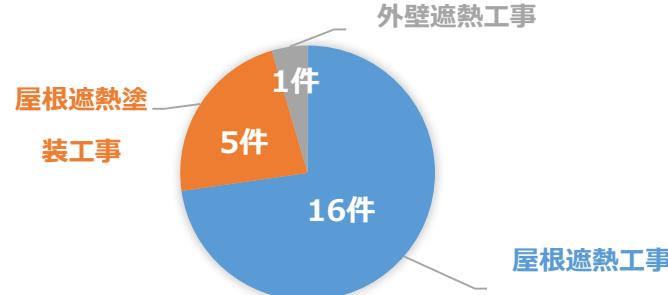
## 実績（8月15日時点）

■申請件数：22件 ■申請金額：27,635千円

### 施工面積別



### 施工工事別



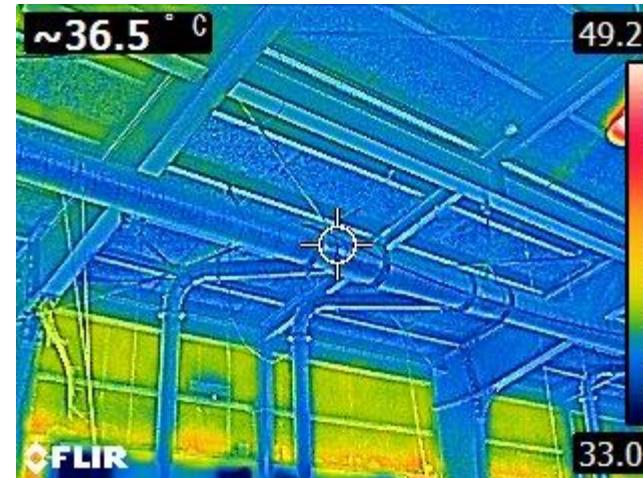
## ■施工した工場の一例

同じ敷地内の遮熱工事を施工した工場と施工していない工場の比較

未施工



施工済



未施工の屋根（天井）は周りの壁に比べ、表面温度が高く、最大46.1度となっていた。  
一方、施工済みの屋根（天井）は周りの壁よりも表面温度が低く、33.0度程度となっていた。

このことより、工場等の面積の大部分を占める屋根からの熱を遮断することにより、室内温度の上昇も抑えられる。



## 概要

### ■目的

バリューチェーンの要請により脱炭素化を進めていく動きが出始めており、燕市内の事業者へも排出量の状況確認などを求められる動きがあり、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、さらに状況確認を求められると予想される。

このことから、市が事業者の排出量把握を支援することで毎年の排出量把握・管理が簡単に行えることを理解してもらい、排出量やエネルギーの使用量を把握することで、省エネ化などの具体的な取組に進む事業者を増やすことを目的としている。

### ■事業内容

CO2排出量可視化のクラウドサービスを提供している会社（e-dash株式会社）に委託し、市内事業者を対象に排出量の把握に取組む事業者を募集。令和6年度中の事業者が利用する可視化クラウドサービスの利用料を市が負担することで、事業者は経費負担なくCO2排出量の可視化に取り組んでいただく。



## 実績（8月15日時点）

### ■参加企業：27社

